

## 金沢の実践の総合評価

枚 田 美 紀

### 1. はじめに

メディア・ミックスとは、教師が意図的にメディアを重ね利用しようという考え方であるため、当然授業設計に重点が置かれるのであるが、金沢の実践の授業設計ではとりわけ子どもの思考を変容させることを重視している。すなわち、教師のねらいとからめて、いかに子どもの思考を深めたり広めたりするかということが設計の柱となっており、そのためにどのようなメディア（情報）を重ねあわせていくかということがポイントになっている。また、最終的には子どもたちが自分たちで情報を選んだり組み合わせることが望ましいとしながらも、小学校の子どもたちではまだまだそれは難しいとして、現段階においてはメディアを教師が選んで与え、子どもに選択の余地を与えない。要するに、金沢の実践は教師が自分のねらいのもとにメディアを重ねあわせて、子どもの思考を意図的に変容させようとするものであり、教師の制御がかなり強いものだと言えよう。

このような特徴のある実践について、ここでは、まず教師の制御として①メディア（情報）の組み合わせ方、②子どもに情報を処理させるための指導、の2点を取り上げ、次に、授業を受けた子どもたちの反応として③児童の調査の結果を取り上げて評価を行なう。

### 2. メディアの組み合わせ方

3人の教師が、共通に用いている番組「竹で掘る砂漠の井戸」に含まれている情報のうち、それぞれがどの情報を重視し、他のどういう情報を組み合わせ、て授業のねらいを設定しているのかを整理したものが図1である。

次に、各学級について細かく見ていく。

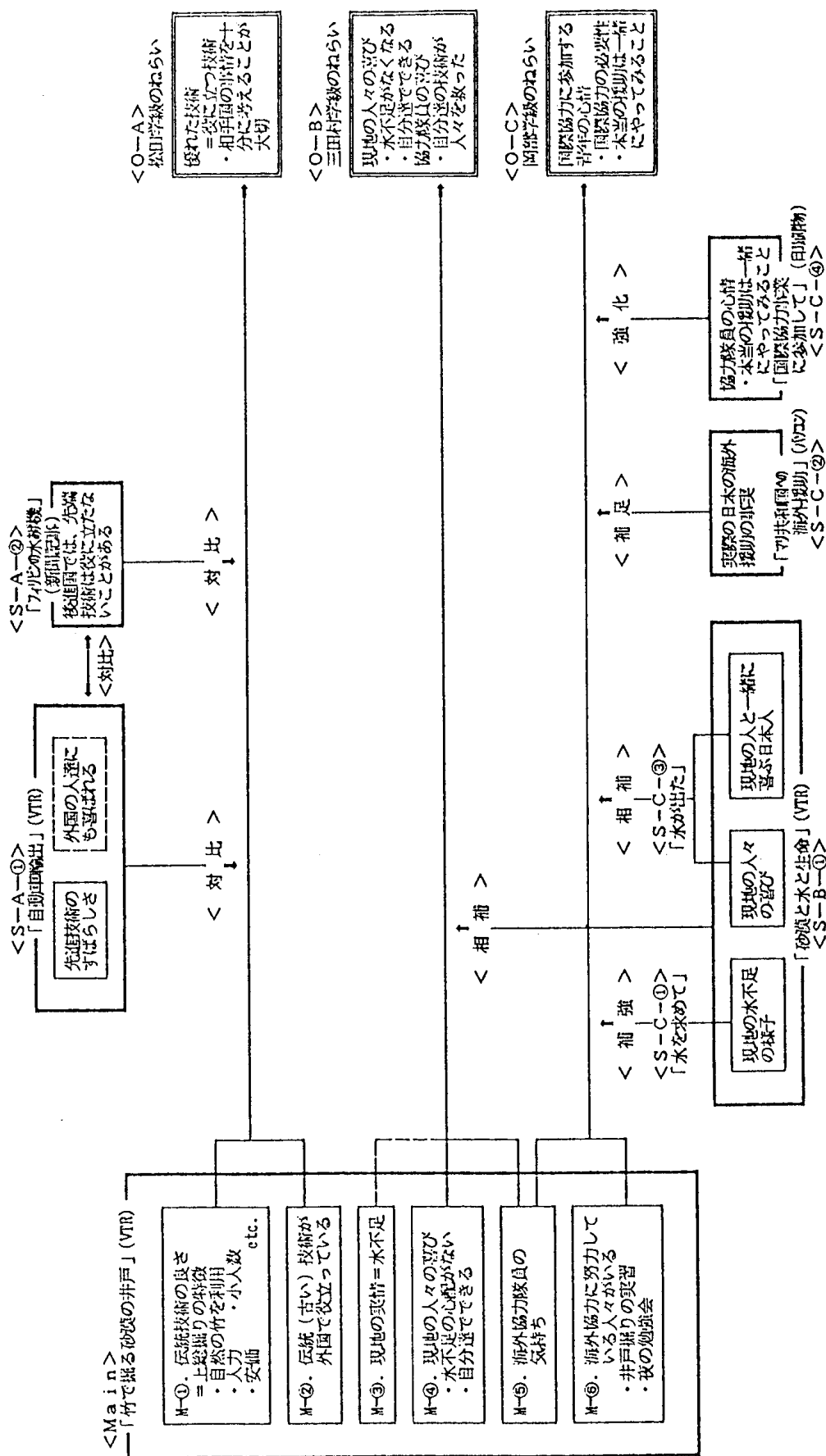


図1 3学級の授業の情報構造図

## A 松田学級 ― 対比（視点変換）型

松田学級では、「竹で掘る砂漠の井戸」の中で、伝統技術（古い技術）が後進国で役立っていることを重視した。そこでまず最初に《日本の優れた技術とはどんな技術か》という課題を設定し、「自動車輸出」で自動車を例に新しい技術の良さを確認したうえで、「フィリピンの水あげ機」で新しい技術が役に立たない所もあるという異なる情報を与えて対比させ、新しい技術についての考え方にゆさぶりをかけた。次に「竹で掘る砂漠の井戸」で古い技術へと視点を変換させ、新しい技術と古い技術を対比させることによって優れた技術について考えさせ、相手国のことをよく知って用いなければならないことを気付かせようとしている。（図2参照）

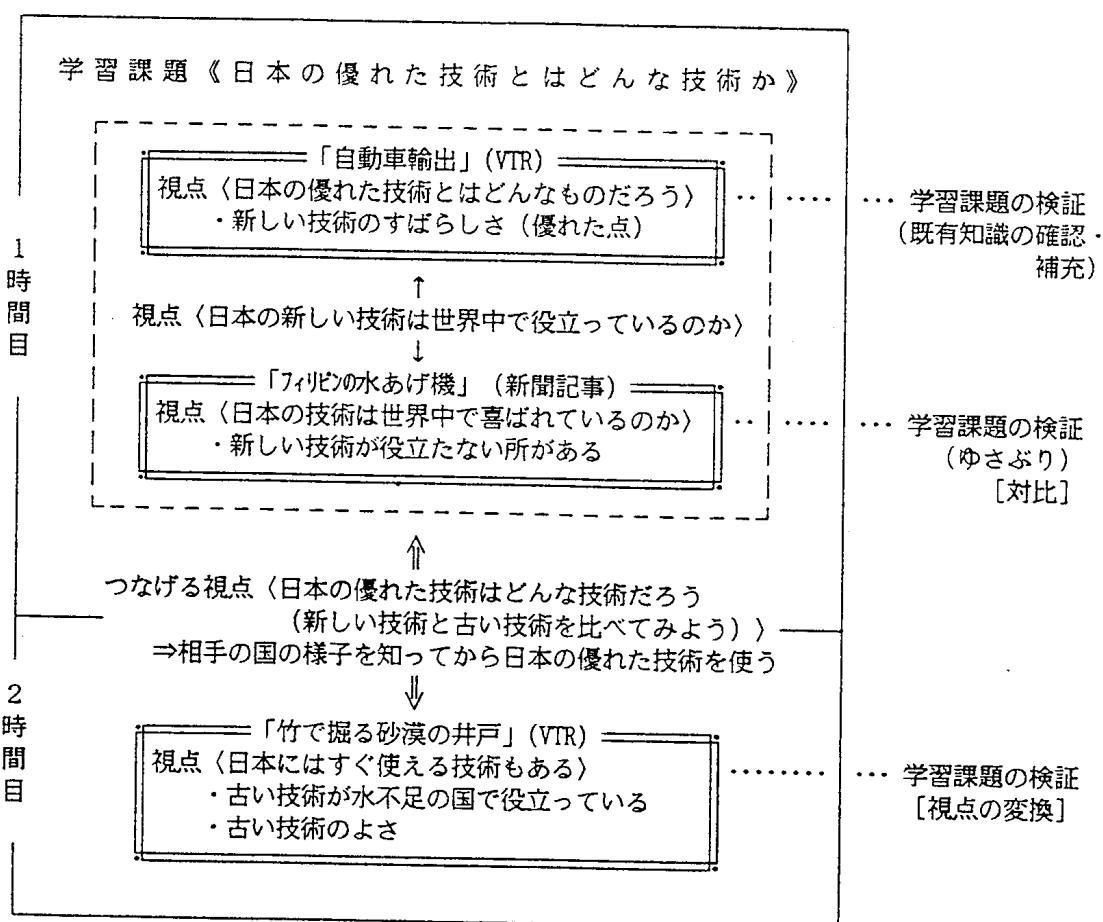


図2 松田学級の授業の情報構造図

## B 三田村学級 ― 相補型

三田村学級では、「竹で掘る砂漠の井戸」の中で、援助してもらった側の現地の人々の喜び（水が出た、自分たちでできるのもう困らない）と援助する側の協力隊員の喜び（困っている人々を救った）を重視した。そこでまず「竹で掘る砂漠の井戸」で両方の人々の喜びの気持ちをおさえたうえで、「砂漠と水と生命」で異なる事例ではば同様の情報を与え、人々の気持ちをより確かにとらえさせようとしている。（図3参照）

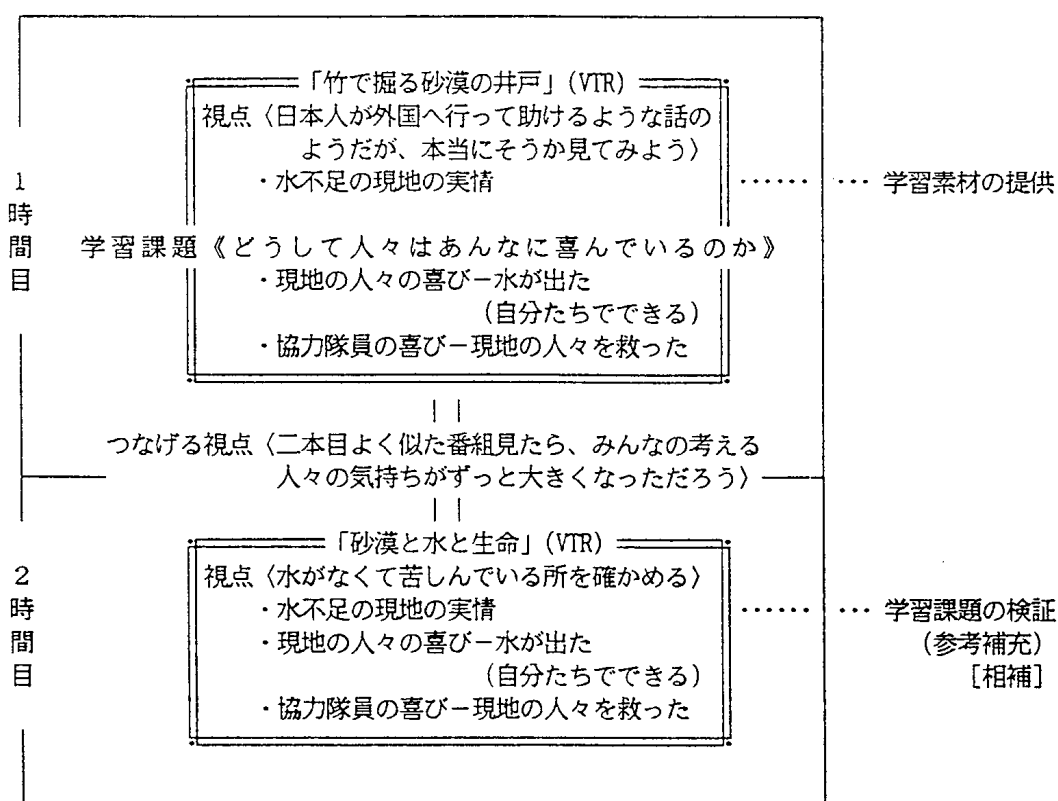


図3 三田村学級の授業の情報構造図

## C 岡部学級 ― 部分補強型

岡部学級では、「竹で掘る砂漠の井戸」の中で海外協力に参加する青年の気持ちを重視した。まず「水を求めて」で水がない生活について考えさせて海外援助について考える動機付けをし、さらに「マリ共和国への海外援助」で実際に日本が海外援助をしている情報を補足して動機付けを強化し、「竹で掘る砂漠の井戸」で海外協力に参加する青年の気持ちに課題を焦点化した。次に「水

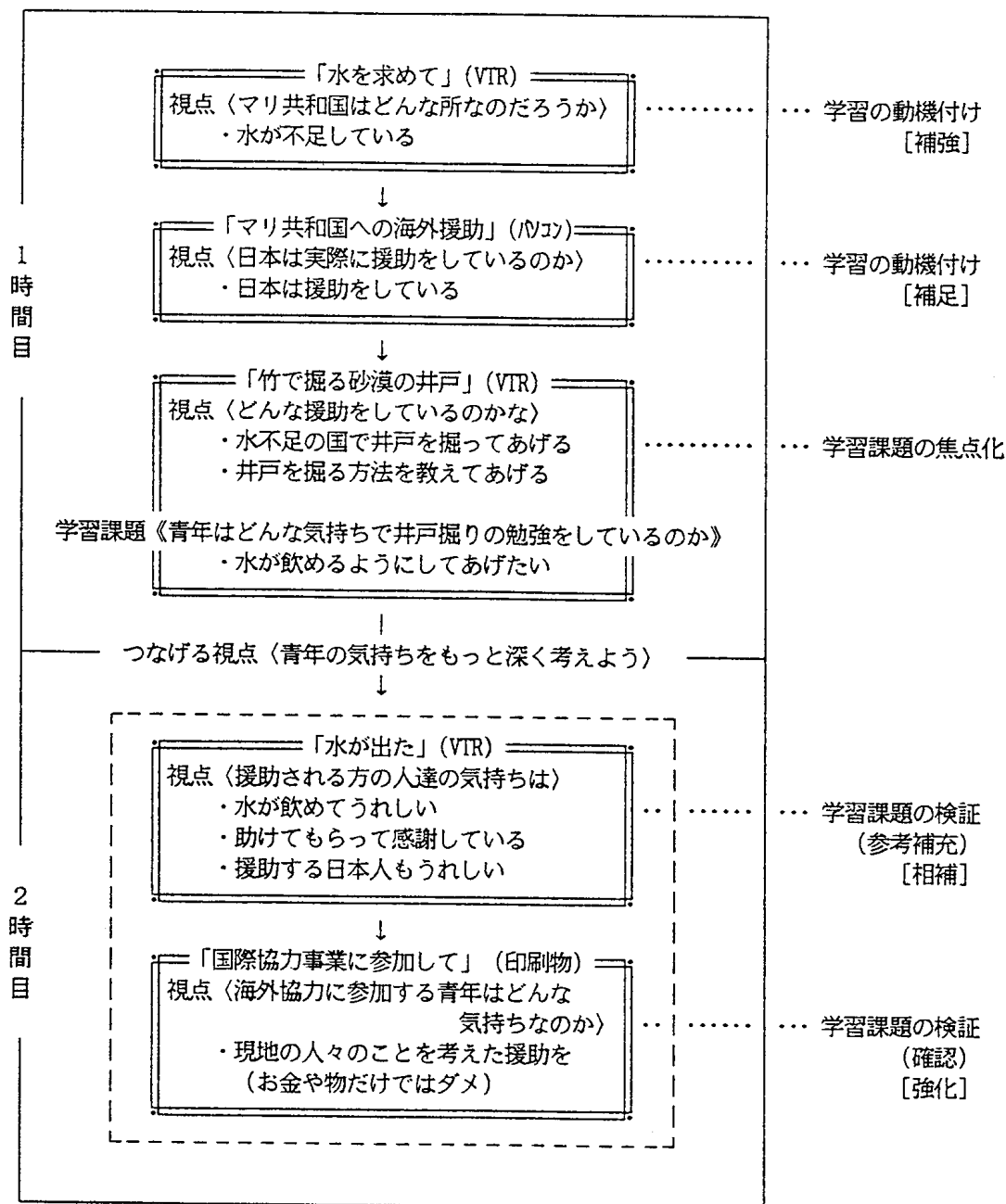


図4 岡部学級の授業の情報構造図

が出た」で同様の情報を与えてもう一度青年の気持ちについて考えさせ、さらに「国際協力事業に参加して」で実際に参加した青年の気持ちについて確認させて、本当の援助とは現地の人々のことを考えてともに協力をすることであり、物やお金だけでは駄目だということに気付かせようとしている。(図4参照)

以上のように、3学級はそれぞれ意図する思考の変容が異なり、それにあわ

せてメディアの組み合わせ方も異なっている。松田学級は2種類の対比する情報をうまく使っている。三田村学級はほぼ同じ情報をもつメディアを重ねあわせることで確かなものにしようとしている。岡部学級はメディアを次々と与えていくことによって課題を導き、検証しようとしている。海外援助という小学校5年生では難しいと思われる内容をうまくメディアを組み合わせることによって学習として成立させようとする教師の工夫がみられる。

### 3. 情報を処理させるための指導

教師が意図的にメディアを組み合わせて与えたからといって、与えただけで児童の思考の変容が起こると安易に考えてしまってはいけないであろう。与えたメディアから意図したように子どもたちを思考させるためには、教師が子どもたちの思考を導くような指導をする必要があると思われる。そして、教師の指導のポイントとしては特に次の4つを考える必要があると思われる。

- ①個々のメディアを読み取る際の視点を与えるか。
- ②個々のメディアから読み取って欲しい内容を確認するか。
- ③複数のメディアをつなげて考える視点を与えるか。
- ④複数のメディアをつなげて考える内容を確認するか。

そこで、この4つのポイントについてそれぞれの学級の指導を見ていく。

表 1. 松田学級の情報処理指導

|                        |    |   |                                    |
|------------------------|----|---|------------------------------------|
| 「自動車輸出」<br>(VTR)       | 視点 | ○ | 日本の優れた技術とはどんなものか確かめてみましょう。         |
|                        | 確認 | ○ | 具体的な新しい技術のよさの確認                    |
| 「フィリピンの水あげ機」<br>(新聞記事) | 視点 | ○ | 日本の技術は世界中で喜ばれているのだろうか。             |
|                        | 確認 | ○ | 新しい技術が役に立たない所がある                   |
| 「竹で掘る砂漠の井戸」<br>(VTR)   | 視点 | ○ | 日本にもすぐ使えるような技術があるんです、それを見てください。    |
|                        | 確認 | △ | 新しい技術との比較で確認                       |
| ま と め                  | 視点 | ○ | 優れた技術とはどんな技術か。(新しい技術と古い技術を比べてみよう。) |
|                        | 確認 | ○ | 相手の国の様子をよく知ってから、日本の優れた技術を使えばいい。    |

### A. 松田学級

松田学級では表1にあるように、個々のメディアについて視点を与え、内容も確認している。また、複数のメディアをつなげる視点についても、対比させるためにはっきりとした視点を与え、確認もしている。子どもの思考を導くように各ポイントをおさえて指導している。

### B. 三田村学級

三田村学級では表2にあるように、個々のメディアを読み取る視点は包括的なものであり、それぞれから読み取って欲しい内容に絞り込むようなものではない。内容の確認については教師が意図したもののうち現地の人々の自分たちでできるという喜びは子どもたちからは出て来ず、確認されないままに終わっている。2つのメディアをつなげる視点については、内容がほぼ同じためか、どうつなげるかということはいまいであり、確認もしていない。全体的に、子どもの思考を導く指導はあまりなされていない。

表2. 三田村学級の情報処理指導

|                      |    |   |   |
|----------------------|----|---|---|
| 「竹で掘る砂漠の井戸」<br>(VTR) | 視点 | △ | 日本人が外国へ行って助けるような話だと、・・・本当にそうかどうか見てみましょう。<br>(包括的な視点すぎるのでは?) |
|                      | 確認 | △ | 現地の人の喜び(自分たちでできる)はなし  |
| 「砂漠と水と生命」<br>(VTR)   | 視点 | △ | 本当にこんな所(水がなくて苦しんでいる所)があるかどうか見てみましょう。<br>(包括的な視点すぎるのでは?)     |
|                      | 確認 | △ | 現地の人の喜び(自分たちでできる)はなし  |
| ま と め                | 視点 | △ | 皆の考える人々の気持ちがずっと大きくなったやろ。(少し具体性に欠けるのでは?)                     |
|                      | 確認 | × |   |

### C. 岡部学級

岡部学級では表3にあるように、メディアの数が多いためもあるが、個々のメディアについてはっきりと視点を与えている。内容の確認もおおよそしているが、最後の「国際協力事業に参加して」に限っては、教師が意図していた本

当の協力とは相手の国のことを考えた援助をしなければならないということが出てこないまま確認できずに終わっている。複数のメディアをつなげる視点としては、考える対象を「竹で掘る砂漠の井戸」のなかの青年としたため、それ以後の2つの確認のためのメディアの意味が弱くなってしまっているし、確認もしていない。子どもの思考を導く最後の所で指導があまりなされていない。

子どもの思考を導くような指導については、メディアの組み合わせ方の影響もあると思われるが、3学級でかなり異なっている。松田学級では教師がきちりと指導しているのに対し、三田村学級では子どもにかなりまかせているようである。岡部学級はその中間で個々のメディアについては教師がきちりと指導しているが、つなげてどう考えるかは子どもたちにまかせているようである。

表3. 岡部学級の授業の情報構造図

|                             |    |   |   |
|-----------------------------|----|---|---|
| 「水を求めて」<br>(VTR)            | 視点 | ○ | マリ共和国がいったいどんな所なのか、見てもらいます。                  |
|                             | 確認 | ○ | 水不足の国の実態の確認                                 |
| 「マリ共和国への<br>海外援助」<br>(パソコン) | 視点 | ○ | 日本は実際に援助をしているかどうか確かめてみよう。                   |
|                             | 確認 | ○ | 実際の援助の例を確認                                  |
| 「竹で掘る砂漠の井戸」<br>(VTR)        | 視点 | ○ | どんな援助をしようとしているのかな。                          |
|                             | 確認 | ○ | 援助の内容と青年の気持ちを確認                             |
| 「水が出た」<br>(VTR)             | 視点 | ○ | マリの人達は本当に喜んでいるだろうか。                         |
|                             | 確認 | ○ | マリの人達と援助する日本人の気持ちの確認                        |
| 「国際協力事業に<br>参加して」<br>(印刷物)  | 視点 | ○ | 海外協力に参加する青年はどんな気持ちなのか。                      |
|                             | 確認 | △ | 本当の協力とは何かについて、教師の意図したことを確認していない             |
| ま と め                       | 視点 | △ | 青年の気持ちをもっと深く考えよう。(青年はどんな気持ちで井戸を掘っているのだろうか。) |
|                             | 確認 | × |   |

#### 4. 児童の調査結果

授業を受けた子どもたちがどのような思考をしているかを調べるために、授



業の実施後に質問紙調査を行なった。

### (1) 調査の内容

授業案をもとに、子どもたちが授業で用いられた個々のメディアを教師が意図したとおりに受け取っているのか、授業全体から何を受け取ったのかということ明らかにするために2種類の調査を作成した。(資料参照)

- ・調査Ⅰ — 各学級ごとに、(1)授業で用いられた個々のメディアから何がわかったか、(2)それら全部のメディアから何がわかり何を考えたかをキーシーン、キーになる文章をもとに想起させ、自由記述で解答させた。(但し、岡部学級に限りメディアの数が多いため「マリ共和国への海外援助」は省いている。)
- ・調査Ⅱ — 3学級共通に、「竹で掘る砂漠の井戸」の番組の内容や各学級の授業のねらいに関連することについて以下のような問題について正誤式、選択式、あるいは自由記述で解答させた。

問1. 上総掘りの技術について、問2. 現地の水不足の実情について、問3. 協力隊員の心情について、問4. 現地の人々の心情について、問5. 番組主題把握、問6. 協力のあり方について、問7. 転移問題

### (2) 調査の結果と考察 (ここでは調査Ⅰの結果を中心に考察する。)

#### ①調査Ⅰについて

調査Ⅰについては全て自由記述で解答させたので、教師が授業設計時において子どもたちに個々のメディア、および授業全体から受け取って欲しいと考えたねらいをもとにカテゴリーを作成し、カテゴリーに分類した。

図5にあるように、松田学級では個々のメディアについては学級の6割前後が教師の意図通りに受け取っているが、授業全体としては教師が意図した「相手国の事情を考えて使う技術こそ優れた技術である」というカテゴリーを解答した者は1割に満たず、それに準ずる「先進国では先新技术が役立つが後進国では伝統技術が役立つ」というカテゴリーを解答した者も2割しかいない。

三田村学級では個々のメディアについてでさえも教師の意図した「現地の人

(各メディアの内容理解と授業目標の達成度)

数字は、教師が設計時において児童に個々のメディア、及び授業全体から受け取ってほしいと考えたねらいに一致した解答をした児童の人数(%)。\*は教師のねらいに準ずる解答をした人数(%)。

【松田学級】

|                           |            |
|---------------------------|------------|
| S-A-①<br>「自動車輸出」<br>(VTR) | 28 (68.3%) |
|---------------------------|------------|

|                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| S-A-②<br>「フィリピンの水あげ機」<br>(新聞記事) | 32 (78.0%) |
|---------------------------------|------------|

|                              |            |
|------------------------------|------------|
| Main<br>「竹で掘る砂漠の井戸」<br>(VTR) | 22 (53.7%) |
|------------------------------|------------|

|                |             |
|----------------|-------------|
| O-A<br>優れた技術とは | 3 (7.3%)    |
|                | * 8 (19.5%) |

【三田村学級】

|                              |             |
|------------------------------|-------------|
| Main<br>「竹で掘る砂漠の井戸」<br>(VTR) | 0 (0.0%)    |
|                              | * 7 (18.4%) |

|                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| S-B-①<br>「砂漠と水と生命」<br>(VTR) | 0 (0.0%)    |
|                             | * 5 (13.2%) |

|                      |            |
|----------------------|------------|
| O-B<br>現地の人々と協力隊員の喜び | 0 (0.0%)   |
|                      | * 3 (7.9%) |

【岡部学級】

|                           |            |
|---------------------------|------------|
| S-C-①<br>「水を求めて」<br>(VTR) | 30 (93.8%) |
|---------------------------|------------|

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| S-C-③<br>「水が出た」<br>(VTR) | 29 (90.6%) |
|--------------------------|------------|

|                              |            |
|------------------------------|------------|
| Main<br>「竹で掘る砂漠の井戸」<br>(VTR) | 27 (84.4%) |
|------------------------------|------------|

|                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| S-C-④<br>「国際協力事業に参加して」<br>(印刷物) | 21 (65.6%) |
|---------------------------------|------------|

|                |            |
|----------------|------------|
| O-C<br>協力隊員の心情 | 0 (0.0%)   |
|                | * 3 (9.4%) |

図5. 調査Iの結果(各メディアの内容理解と授業目標の達成度)

々の喜び（水不足がなくなるし自分たちでできる）と協力隊員の喜び（自分たちが人々を救った）」というカテゴリーを解答したものはなく、授業全体でもない。それに準ずる「現地の人々の喜び（水不足がなくなる）と協力隊員の喜び（自分たちが人々を救った）」を解答したものも少なく、2割に満たない。

岡部学級では個々のメディアについては教師の意図通りに受け取った者が多く6割を越えているが、授業全体としては教師の意図した「本当の援助とは相手国のことを考えてともに協力して成し遂げること」というカテゴリーを解答したものはなく、それに準ずる「協力隊員の心情」を解答した者も1割に満たない。

3学級を通して個々のメディアについて教師の意図通りに受け取っていない場合は当然のことながら、教師の意図通りに受け取っていても授業のねらいを達成している子どもは少ないようである。さらにこの結果を、教師による情報指導の仕方と絡めて考えると、個々のメディアについては視点があいまいであったり確認がなされていないものは、指導がなされているものに比べて教師の意図通りに受け取った人数が少ないようである。授業全体についても教師による指導がなされている松田学級が、指導が余りなされていない他の2学級に比べてねらいを達成した子どもが多くなっている。いずれにしても、子どもたちは複数のメディアをつなげて考えることはできにくいのではないかとと思われる。

## ②視聴調査Ⅱについて

「竹で掘る砂漠の井戸」という番組の基本的な内容については、授業で扱ったかどうかにかかわらず、3学級ともよく理解しているようである。しかし、番組の主題把握や、協力隊員の心情、協力のあり方については、多少授業での扱い方の影響を受けているように思われる。

## 5. おわりに

金沢の実践について①メディアの組み合わせ方、②教師による情報処理指導、③児童の調査の結果の3点からみてきたが、メディアの組み合わせ方も大事な問題ではあるが、ただ組み合わせればいいのではなく、子どもたちは情報を組

み合わせて考えることになれていないのであるから、情報処理の指導を行なって子どもたちの思考を導くことも大事だと思われる。特に今回のような少し難しい内容を扱う場合にはなおさら、教師はこの2点を考慮しなければいけないのではないかと思われる。

# 「みんな地球人」視聴調査Ⅰ（松田学級）

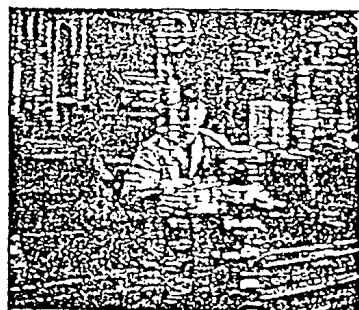
この調査は、あなたが、きのうの『みんな地球人』の「竹で掘る砂漠の井戸」を使った授業をとおり、  
わかったことや考えたことを調べるためのものです。ふだんの成績には関係ありませんから、思ったとおり  
に答えてください。

学校名 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_（男・女）

- （１）きのうの授業では、①「自動車輸出」という番組と、②「フィリピンの水あげ機」という新聞記事と、③「竹で掘る砂漠の井戸」という番組を使いました。下の絵や文章は、それぞれの一部分です。これらのものから、番組や新聞記事の内容を思いだして、それぞれの番組や新聞記事からわかったことを書いてください。
- （２）次に、これら３つの番組や新聞記事を全部あわせて、あなたがわかったことや考えたことをできるだけ詳しく書いてください。

（１）それぞれからわかったこと

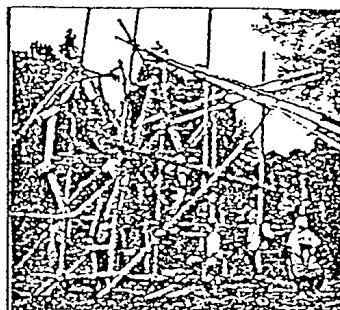
①「自動車輸出」



②「フィリピンの水あげ機」

フィリピンのミンダナオ島では  
.....  
.....  
.....ポンプを動かす電気がない  
ので使うことができません。

③「竹で掘る砂漠の井戸」



（２）３つ全部からわかったこと、考えたこと

「みんな地球人」視聴調査Ⅰ（三田村学級）

この調査は、あなたが、きのうの『みんな地球人』の「竹で掘る砂漠の井戸」を使った授業をとおして、  
わかったことや考えたことを調べるためのものです。ふだんの成績には関係ありませんから、思ったとおり  
に答えてください。

学校名 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_（男・女）

（１）きのうの授業では、①「竹で掘る砂漠の井戸」という番組と、②「砂漠と水と生命」という番組を使いました。  
下の絵は、それぞれの一部分です。これらのものから、番組の内容を思いだして、それぞれの番組からわかったこ  
とを書いてください。

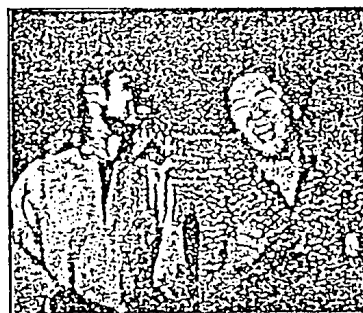
（２）次に、これら２つの番組を両方あわせて、あなたがわかったことや考えたことをできるだけ詳しく書いてくだ  
さい。

（１）それぞれからわかったこと

①「竹で掘る砂漠の井戸」



②「砂漠と水と生命」



Blank box for writing answers to question (1) for program ①.

Blank box for writing answers to question (1) for program ②.

（２）両方の番組からわかったこと、考えたこと



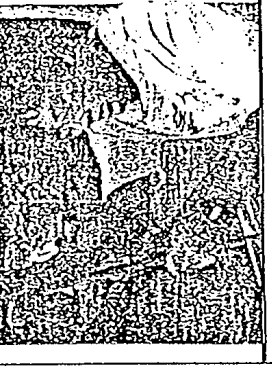
Blank box for writing answers to question (2).

「みんな地球人」・視察訪問団Ⅰ（国際協力系）

この調査は、あなたがきのうの『みんな地球人』の「竹で語る砂漠の非戸」を使った授業をとおして、わかったことや考えたことを調べるためのものです。ふだんの成績とは関係ありませんから、あなたの思ったとおりに答えてください。

学校名 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ (男・女)

- (1) きのうの授業では、①「水を求めて（『砂漠と水と生命』より）」という番組と、②「水が出た（『砂漠と水と生命』より）」という番組と、③「竹で語る砂漠の非戸」という番組と、④「国際協力事業に参加して」という資料を使いました。下の絵や文章は、それぞれの一部分です。これらのものから、番組や資料の内容を思いだして、それぞれの番組や資料からわかったことを書いてください。
- (2) 次に、これから4つの番組や資料を全部あわせて、あなたがわかったことや考えたことをできるだけ詳しく書いてください。

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p>(1) それぞれからわかったこと</p> <p>①「水を求めて（『砂漠と水と生命』）」</p>  | <p>②「水が出た（『砂漠と水と生命』）」</p>  | <p>③「竹で語る砂漠の非戸」</p>  | <p>④「国際協力事業に参加して」</p> <p>.....</p> <p>.....物やお金では、本当に援助した.....</p> <p>.....ことにはならない。.....</p> <p>.....</p> |
|--|---|--|--|

(2) 4つ全部からわかったこと、考えたこと

## 「みんな地球人」視聴調査 II

この調査は、あなたが『みんな地球人』の「竹で掘る砂漠の井戸」を使った授業をとおして、わかったことや考えたことを調べるためのものです。ふだんの成績には関係ありませんから、思ったとおりに答えてください。

学校名 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ ( 男・女 )

1. 井戸を掘る手段として、上総掘り<sup>かたさほ</sup>のどういうところが、フィリピンやアフリカなどで役に立つのだと思いますか。以下の文章を読んで、あなたが正しいと思うものには○を、正しくないと思うものには×をつけてください。

- (        ) 短い時間で深い井戸を掘ることができる。
- (        ) 現地の人々だけでもできる方法である。
- (        ) 電気や燃料<sup>はんやう</sup>をうまく使っている。
- (        ) あまりお金をかけずに井戸を掘ることができる。
- (        ) 竹の性質を利用しているので、人の力だけで掘ることができる。
- (        ) 鉄で作った道具なので、こわれにくいいため何度も使うことができる。

2. 番組の中でてきたフィリピンやアフリカはどのような所ですか。以下の文章を読んで、あなたが正しいと思うものには○を、正しくないと思うものには×をつけてください。

- (        ) 雨が少ないため、農業をするのにも水が不足している。
- (        ) 雨は普通にふるが、暑いために、人々が水をたくさん使ってしまうので水が不足する。
- (        ) 雨のほとんどふらない時期があり、ひどい時には動物も死んでしまう。
- (        ) 雨が少なくても、近くに川や湖がたくさんあるので、水が不足することはない。
- (        ) きれいな水はなかなか手に入らないので、きたない水でも飲んでしまう。
- (        ) 水は遠い所から苦労して運んでこなければならない。
- (        ) 人々は、水が少ないことになれているので、水が少ないことを別に気にしていない。

3. 上総掘り<sup>かたさほ</sup>をおぼえて、外国で井戸を掘ろうとしている日本の人たちは、どのような気持ちでしているのだと思いますか。下の口の中にあなたの考えを書いてください。



4. フィリピンやアフリカなどの人々は、上総掘りを使って水が出たことをどのように感じたと思いますか。口の中にあなたの考えを、そう思う理由といっしょに書いてください。

|  |
|--|
|  |
|--|

5. 授業の中で「竹で掘る砂漠の井戸」という番組を見ましたが、あの番組の中で一番大切なことは何だと思いますか。次の①～⑤の中から1つ選んで、その番号を下の口の中に書いてください。

- ① 上総掘りという日本の伝統技術にみられる昔の人の知恵や工夫が素晴らしいこと。
- ② 水がなくてとても困っている国があるということ。
- ③ 外国の困っている人々を助けようと努力している人々がいること。
- ④ 上総掘りという日本の伝統技術を、外国の困った人々のために役立てようとしていること。
- ⑤ 外国の困っている人々を助けることはやりがいがあるということ。

一番大切だと思うこと

|  |
|--|
|  |
|--|

6. 水に困っている外国に援助する方法として、上総掘りのような古い技術のかわりに、井戸を掘る新しい機械をあげたほうが良いという意見があります。この意見について、あなたはどのように思いますか。あてはまるところに1つ○をつけて、そう思う理由を口の中に書いてください。

( ) 新しい機械の方がよい

( ) 上総掘りのような伝統技術の方がよい

( ) 新しい機械がよいとはいいきれない

( ) どちらも同じである

〔理由〕

7. 次の文章は、新聞記事の一部をわかりやすくしたものです。よく読んで下の問いに答えてください。

アフリカのスーダンでは、雨が降らないために作物がみのらず、食糧が不足して多くの人々が飢えに苦しんでいます。そこで、外国から食糧が送られてきましたが、食べてしまえばいつかはなくなってしまいます。

さらに困ったことに、食糧を人々のもとへとどけるためのトラックなどの輸送手段が足りません。また、食糧をためておく設備がないため、食糧はあってもまだ4900万人の人が飢えに苦しんでいるということです。

この援助について、あなたはどのように思いますか。勉強したことを思いだして、あなたの考えをできるだけくわしく書いてください。